「なぜ、唾液中の赤血球を測るのか 2026」

住友商事株式会社　診療所 歯科所長　小林宏明
日本歯周病学会　歯周病専門医・指導医
東京科学大学病院　臨床教授（歯周病学）

「攻めの予防医療」

令和 9 年度の U.E.N.O Plan「攻めの予防医療」に「健康寿命の延伸につなげるための生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の具体化」が明記されました。「希望する国民が、毎年歯科健診を受けられるよう、自治体と医療保険者の双方で簡易検査ツールを活用した方法を「簡易歯科健診」として位置付け、制度化」とも記載されています。この簡易歯科検査ツールは、現在 4 社から出ています。サリバスター(株式会社ジーシー昭和薬品)、OC-ヘモディアオート S（栄研化学株式会社)、ネスコート Sa-Hb(アルフレッサファーマ株式会社)、シルハペーパーケンシン-ヘモグロビン(アークレイ株式会社)。すべて唾液中のヘモグロビン（赤血球）を測定する検査です。今回の検査委託先は、アルフレッサファーマ社製の検査キットを使っており、もっとも信頼できる製薬メーカーです。
国民皆歯科健診を先取りして、ご自身の口の健康を確認してみませんか？

「唾液歯周病検査（唾液潜血検査)」

歯周病は症状がなく静かに進行する Silent Disease と呼ばれる病気です。気づいた時には手遅れになっていることが多いです。早期発見のため、この唾液歯周病検査をお勧めします。

この検査は唾液中の赤血球潜血を測定し、生体の免疫炎症反応を評価します。検査方法は、付属のガムを噛んで、出てきた唾液をチューブに入れて郵送するだけです。唾液中のヘモグロビン（赤血球）数を測定し、具体的な数字で検査結果がでます。簡易で時間もかからず痛みもない、自宅でできるスクリーニング検査キットです。

唾液に赤血球が混じるということは、口腔内のどこかで細菌侵入とそれに対する免疫応答がおこっています。そのほとんどは歯周病による免疫反応です。もしくは、親知らず由来の炎症の可能性もあります。そして、ごく稀ですが、白血病や口腔癌、舌癌による自然出血なども見つけることが可能です。

検査結果で、口腔内に出血を伴う、大きな免疫炎症反応がある場合には、歯科医院での口腔内の精査をお勧めします。この検査キットは、炎症のスクリーニングキットです。

この検査をお奨めしたい方は、以下の方です。

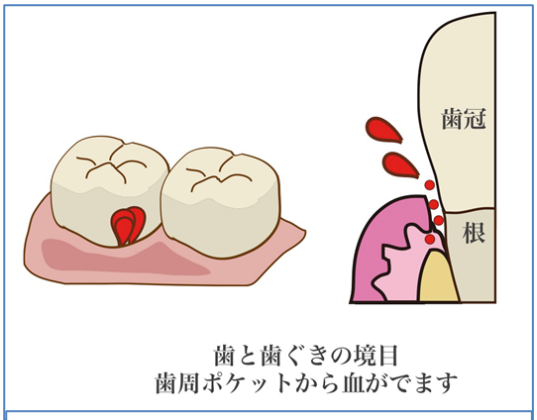
・最近、歯科医院で歯周ポケット測定をしてもらってない（歯と歯茎の間の溝の深さを mm で測定する検査)
・最近、歯科医院で歯肉からの出血検査をしてもらってない（歯周ポケット測定時の出血有無の検査)
・自分の口腔内の炎症状態を客観的に数字で評価したい。

・ずっと、自分の歯で好きなものを食べたい。
・国民皆歯科健診を先取りしたい

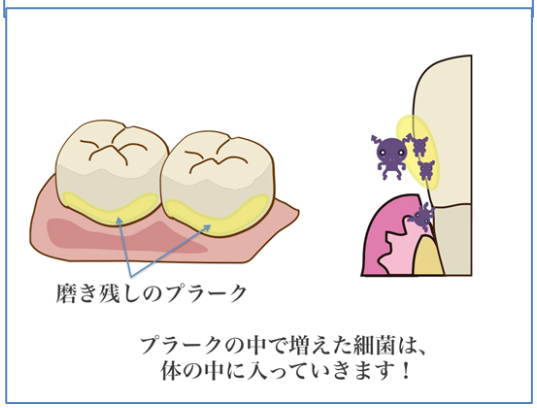
この唾液検査キットでは、自分では気づかない口腔内の炎症反応がスクリーニングできます。自覚症状がなくとも、持続的な免疫応答と慢性炎症は口腔内だけではなく全身の炎症につながります。唾液中のヘモグロビン量をこのキットで測定して、自分の口の健康を確認してみませんか。

「なぜ、唾液に血が混じるのか」

どこから血がでてくるのでしょうか。
歯ぐきが歯ブラシなどで切れて、皮膚からでてくるのではありません。赤血球は、歯と歯ぐきの境目、歯周ポケットという溝からでてきます。



では、なぜ赤血球が出てくるのでしょうか。
歯の表面に「プラーク（歯垢）」という細菌の塊ができます。この細菌は分裂増殖し、歯と歯ぐきの境目から体の中に入っていきます。
ヒトの生体はこの細菌と戦うために、歯周ポケット内とその近辺に、細菌を食べる白血球を集めます。この白血球が集まるときに、赤血球も一緒に集まり、歯周ポケット内やその近くには、赤血球が溜まります。この赤血球が溜まっているときに、歯ブラシやフロスなどの機械的刺激があると、溜まっていた赤血球があふれ出ます。これが口の中の出血という状態です。



赤血球が体からでてくるということは、どこかに穴があいています。
そして、その穴を入口として口の中の細菌が体の中に侵入します。体に中に侵入した細菌は、血管に入り、体中をまわります。

歯周病と心血管疾患（心筋梗塞・狭心症）発症との関連性が大規模な調査から報告されています。血管の壁に付いているアテロームには歯周病細菌があり、歯周病がアテローム形成へ悪影響を及ぼすことも報告されています。アテローム形成の進んだ血管は動脈硬化をおこすことが多く、最終的には心筋梗塞や脳梗塞などをまねく、非常に危険な状態です。

歯ぐきで、細菌とヒトの細胞が戦うと、その戦いで出たサイトカインという起炎物質が血液にのり、さまざまな他の臓器に到着して、悪影響を及ぼします。このように、歯周病は、糖尿病、早産・早期低体重児出産、肥満、腎臓病などの他の疾患に悪影響を及ぼします。

歯周病は早期発見で治ります。口腔内の炎症をスクリーニングして、早めの警戒を心掛けましょう。